JPX
東証上場
証券コード:3435

サンコーテクノ株式会社

第60期 第2四半期のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日

Business Report

ありがとう
60 since 1964 周年

人のお役に立つために
創造提案型企業をめざします

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年3月期第2四半期は増収増益となり、想定以上の成果となりました。製品単価の値上げも浸透し、一時は買込み需要の反動等により販売数量が伸び悩んだものの、当上半期では価格改定前を上回る水準まで回復しております。アンカー・ファスナー製品やインフラメンテナンス関連の受注に加え、グループ会社や新製品の売上も好調に推移し、上半期として過去最高売上・利益を更新いたしました。当社の主軸である、あと施工アンカーの市場も拡大しており、下半期もその流れにのり、好調を維持したいと考えております。

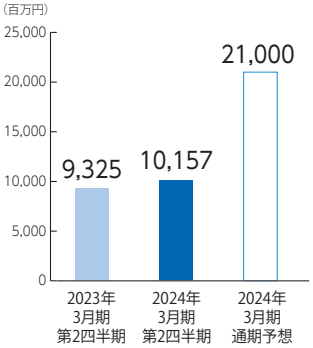
下半期で特に注目しているのは、2023年12月に施行される白ナンバー事業者への「アルコール検知器を使用した酒気帯び有無の確認」義務化です。当社では業務用に特化し、高精度の燃料電池式検知器のPRに注力するとともに、健康管理機能の付加価値をつけることにより、お客様の「健康経営」に貢献できる事業へと展開してまいります。そのほか、電子基板関連において、半導体のサプライチェーンが落ち着き、海外製から日本製に移行する動きもみられるなか、当社もこの環境変化にしっかりと順応してまいりたいと考えております。

前期に、中期経営計画の最終目標値である売上高200億円を1年前倒しで達成することができましたが、今期は、お客様のニーズを捉え、キメ細かなサービスで問題解決につなげるソリューション営業に注力し、さらなる収益向上を目指します。製品の製造から販売、点検管理まで一気通貫のトータルシステムでお客様よりいっそうの信頼を得てまいります。また、新製品開発においても技術研究所を中心に、開発と製造部隊を配置して人的資本の移行を進めています。当社内で製造開発が完結することで、独創的な技術・ノウハウの保有につなげてまいります。今期で中期経営計画の最終年度を終えますが、その後はさらに「販売拠店」を活用・拡充して事業のマトリックス化を推進し、地域密着型の「コト売り」営業へと進化させるべく、次期計画の策定を進めております。

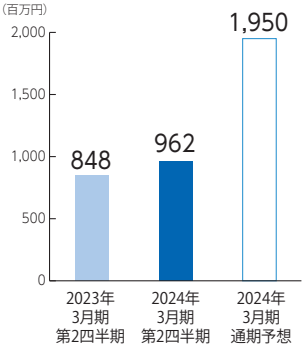
当社は短期的にブームを起こす製品を作る会社ではありませんが、緩やかながら着実に成長を遂げてまいりました。今後は、さらに成長スピードを高めてまいる所存ですので、中長期的な目線をもって当社のサポーターになっていただけたら、この上ない喜びです。また、安定増配を続けることにより株主様への還元についても着実に継続したいと考えております。株主の皆様におかれましては、末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務情報

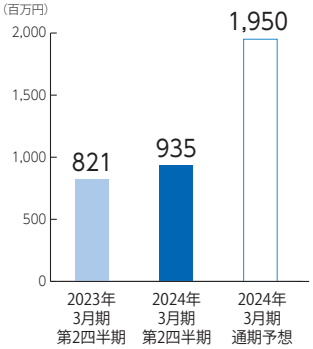
売上高



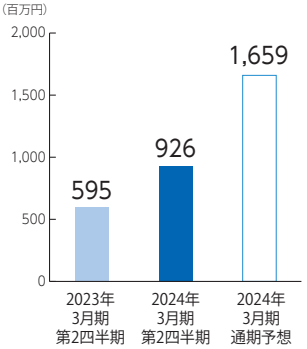
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



POINT

ファスニング事業

当社の主力製品である、あと施工アンカーの販売が前年を上回る水準で好調に推移したほか、完成工事高が堅調に推移いたしました。

セグメント

売上高
7,689百万円
(前年同期比6.3%増)

利益
1,151百万円
(前年同期比15.9%増)

機 能 材 事 業

電動油圧工具関連の販売は、国内・海外ともに前年を若干下回る水準で推移いたしました。

また、FRPシート関連、アルコール検知器関連の販売は前年を下回った一方、電子基板関連、包装・物流機器関連の販売は前年を上回りました。

セグメント

売上高
2,467百万円
(前年同期比18.2%増)

利益
288百万円
(前年同期比1.1%増)

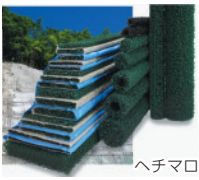
TOPICS トピックス

会社情報 新光ナイロン株式会社の株式を取得

2023年4月6日付で、新光ナイロン株式会社（大阪府）の株式を取得し、子会社化しました。

■設立　1958年7月2日
■事業内容
「ヘチマロン」をはじめとする土木用暗渠排水材等の合成樹脂立体網状構造体の製造・販売
■該当セグメント　ファスニング事業

ヘチマロン



ヘチマロン

会社情報 株式会社光洋の株式を取得

2023年4月25日付で、株式会社光洋（東京都）の株式を取得し、子会社化しました。

■設立　1970年5月12日
■事業内容
端末機用入力キーボード・メンブレンスイッチ等の設計・開発・製造
各種フィルム材料の加工・印刷およびプリント基板の設計・製造
プラスチック成形部品・板金部品・銘板の設計・製造
■該当セグメント　機能材事業

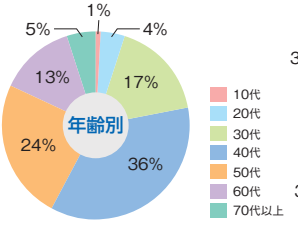
業務用
端末機用入力キーボード

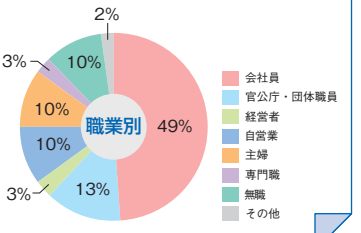
ニュース 環境配慮型パッケージにリニューアル

化粧箱の材質を、これまでのコートボール紙から段ボールへと切り替えました。この取組みは、年間2.4トンのCO_2削減につながります。2023年度は当社の創業60年目にあたり、その節目に材質改善と併せて化粧箱のデザインも約20年ぶりにリニューアルしました。

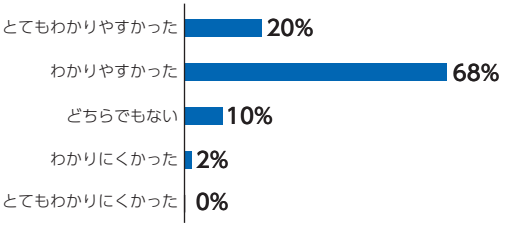
アンケート結果報告

前号の「第59期株主通信」において実施させていただきました「株主様WEBアンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。
以下に、アンケート結果の一部をご報告いたします。

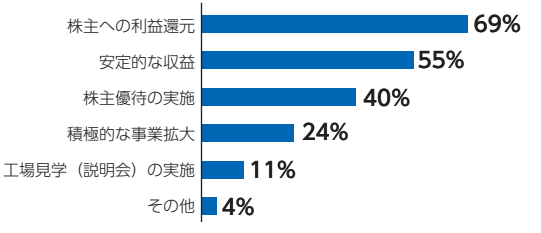




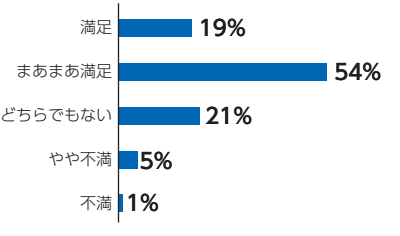
Q1 今回の株主通信のご感想はいかがですか？



Q2 今後、当社に何を期待しますか？（複数回答可）



Q3 当社のIR活動についての評価を教えてください



皆様よりいただいたご回答・ご意見をもとに、より良いIR活動を推進してまいります。

会社概要

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	345名（連結670名）（2023年9月30日現在）
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535　FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行 りそな銀行 千葉銀行 常陽銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等）、 複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社 浦和電研株式会社 成光産業株式会社 成光パック株式会社 日本メカニック株式会社 株式会社WDS 新光ナイロン株式会社 株式会社光洋
非連結子会社	株式会社イーオプティマイズ
持分法適用関連会社	株式会社サンオー

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ（https://sanko-techno.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

サンコーテクノ株式会社

千葉県流山市南流山三丁目10番地16

最新の会社概要やIR情報についてはホームページをご覧下さい。

https://sanko-techno.co.jp　サンコーテクノ　検索